

# 冬季鉢花の管理法

## 1 シクラメン

地中海原産のサクラソウ科の球根植物で、15～20℃の気温を好みます。適切な管理を行い、長期間、花を楽しみましょう。

### ①場所

日中はレースのカーテン越しの柔らかい日射しを好みます。

3月になり、暖くなると日中は戸外で日光浴をさせます。室内で管理する場合、場所により日光が不足し開花しないことがあるので注意が必要です。夜間は窓付近は気温が下がり過ぎるので、暖房していない室内に移動します。日中25℃以下、夜7～10℃で管理するのが理想です。

暖房した部屋で管理を行うと、葉や花茎が伸び、徒長するばかりか、開花が進み、やがては株が休眠に入り花が咲かなくなります。また、高温乾燥条件により葉が黄色くなったりします。

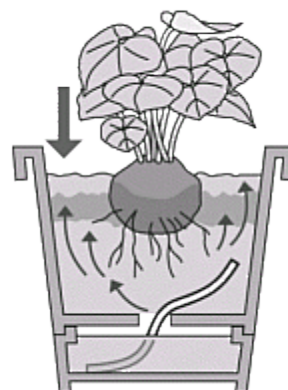
### ②水、肥培管理

土の表面が乾いた鉢底から水が流れ落ちるくらいたっぷりと水をあげましょう。

この際、葉や花に水がかからないようにします。

底面給水の場合は底面給水皿の7～8分目まで水を入れます。

施肥は化成肥料の置き肥を2月に1回与えるか、液肥1,000倍液を月2～3回与えます。



### ③その他管理

#### 1) 花柄摘み、枯れ葉掃除

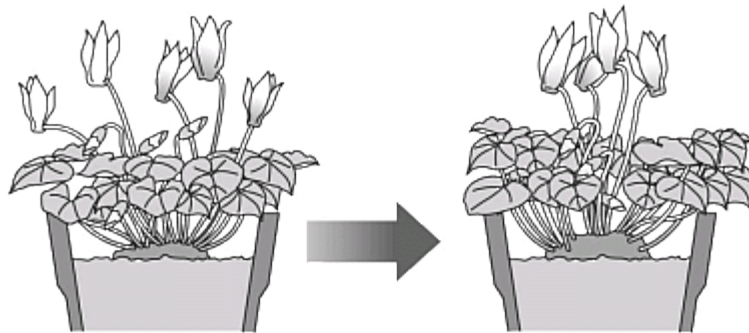
花卉が老化したり、葉が黄色くなり始めたら株元から抜き取ります。やや下めを持ち、軽くひねりながら引っ張ると簡単に抜けます。病気の発生源になるので適宜行うと良いでしょう。但し、水やりの直後は避け、株元が乾いている時に行います。

#### 2) 霧吹き

暖房した室内などでは湿度が不足することが良くあります。蕾が枯れたりすることがあるので、週に1～2回、葉に霧吹きを行います。

#### 3) 葉組み

葉組みを行うことで花が中心から咲かせることができます。



## 2 ポインセチア

メキシコ高地原産のタカトウダイグサ科の永年性木本植物です。観賞対象となるのは花を保護する苞と言う器官です。

生育適温は20～30℃で、暑さには強く、35℃以上でも問題なく生育しますが、逆に寒さには弱く、8℃以下では生育を停止します。

現在では赤色以外にも白、ピンク、マーブルなどの色合いの苞を持つ品種があります。

### ①場所

日中はガラス越しの日光が十分に当たる室内で育てます。夜間は温度の確保できる室内にとりこみます。日中15℃以上、夜間8℃以上で管理しましょう。日光が不足すると下葉が黄変し、株が弱ってくるので注意が必要です。

暖房した部屋で管理すると株の寿命が短くなってしまいます。

### ②水、肥培管理

葉と苞が少し垂れはじめたら、鉢底から水が流れ落ちるまでたっぷり与えます。過湿に弱いので少々乾かしぎみに管理すると良いでしょう。

下葉が黄化してきたら、液肥1,000倍液を月2回程度与えます。

### ③その他管理

低温により下葉が枯れ上がってくる場合があるので、2重鉢にするなど根鉢を保温する工夫をするとう良いでしょう。

[\(戻る\)](#)